

方剂名	効能	生薬組成
書籍	主治および証	病機 方意
癰瘍剂 外瘍剂 (陽証) 8		
さいおうがん 犀黄丸	清熱解毒・化痰散結・活血祛瘀	牛黄 15g・麝香 75g・乳香・没薬各 500g・黄米飯 350g 黄米を蒸して乾燥し、乳香・没薬と共に細末にし、牛黄・麝香の粉末と混ぜ合わせて水で丸にし、1回9gを酒で服用する。
外科全生集	<主治> 乳癌、横痃、癰癤、痰核、流注、肺癰など。 <病機> 火鬱、痰瘀、熱毒などが長期にわたり、壅滞して凝集したために生じる。 <方意> 清熱解毒、化痰散結、活血祛瘀により壅滞凝集を散じる。 清熱解毒、豁痰散結に働く牛黄が主薬であり、辛香走竄し活血散結、通経活絡の効能をもつ麝香が補佐し、麝香に牛黄を配合することにより辛温助火する弊害がない。乳香・没薬は活血祛瘀、消腫定痛に働き、米飯は胃気を調養し、酒で服用すると活血行血の効能が増す。 <参考> 本方(犀黄丸)は、体力があり結実を呈するときに適用し、潰破した後や、気血不足のものには用いない。湯剂にすると効果が悪い。	